

平成30年度

不燃化特区

住まいの相談会

開催のお知らせ



- 建替えを考えているのだけど、どのような助成制度があるの？
- 建替えたいけれど、相続問題が解決していません。どうすればいいの？
などのお悩みはありませんか？

開催日

平成31年3月10日(日)

個別相談

時間:

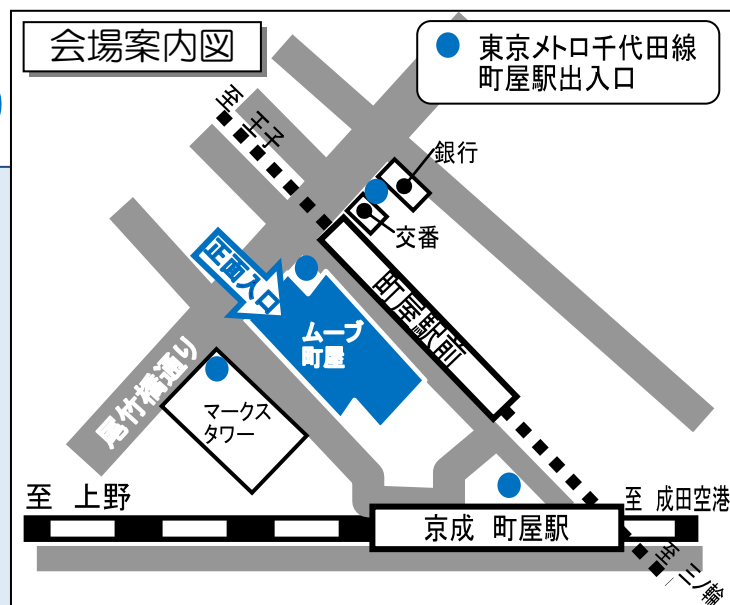
第1部 午前9時30分～正午まで

第2部 午後2時15分～午後4時30分まで

※受付 午前9時15分から午後3時30分まで

会場: **ムーブ町屋 4階 会議室B**

(荒川七丁目50番9号) ※上記地図をご参考ください。



相談は予約制となります。事前に[下記お問合せ先](#)までご予約ください。
※当日空きがある場合にはご案内できます。

お客様と専門家・区職員が個別にお話しできるよう、お席をご用意しております。

不燃化特区 みんなで取り組む防災"も"まちづくり 不燃化セミナー ～木造住宅密集地域におけるこれからの取組みのポイント～

定員: **先着60名** 予約不要・参加無料

講師: **加藤孝明氏** 《東京大学生産技術研究所 准教授 博士(工学)》
近年の東日本大震災などの災害経験を経て、様々な気づきや感じたこと
をもとに防災意識改革が進められています。今あらためて、今後の密集
市街地における防災まちづくりのあり方について考えます。

時間: **午後1時30分～午後3時まで**
(※受付 午後1時より)

会場: **ムーブ町屋 4階 会議室A**

基調講演
好評につき
第2弾!!



基調講演にご参加いただいた方には
「防災グッズ5点セット」
(数量限定: 先着順) を
プレゼント!



前回聴講されていない方もお気軽にご参加ください!
【住まいの相談会に関するお問い合わせ先】

荒川区 防災都市づくり部 防災街づくり推進課 防災街づくり係 (区役所北庁舎2階⑭窓口)
電話: 03-3802-3111 (内線 2829) / FAX: 03-3802-4104

地震などの災害に強いまちを目指して 荒川二・四・七 まちづくりニュース

第32号

平成31年2月編集発行

荒川二・四・七防災まちづくりの会

荒川二・四・七防災まちづくりの会は、防災まちづくりと 旧荒川図書館跡地の公園計画に取り組んでいます。

まちづくりの会の活動として、今年度は、地区全体の防災まちづくりの話と、旧荒川図書館跡地の公園計画づくりのワークショップ(2回)を行いました。



第3回協議会 グループ毎の発表の様子

<2018年度の活動報告>

日付	回	議題	具体内容
7/3 (火)	第1回協議会	1.ブロック塀について(説明) 2.今年度協議会予定について(説明) 3.糸魚川市駅北大火の復興まちづくりの現場から(講演)	まちづくりニュース第31号で紹介しました。
10/23 (火)	第2回協議会	1.防災まちづくりと公園(説明) 2.公園計画ワークショップ(第1回) ～公園のイメージについて意見交換～	次頁で紹介いたします。
12/17 (月)	第3回協議会	1.防災まちづくりの進捗状況(報告) 2.公園の事例紹介と計画のヒント(講演) 3.公園計画ワークショップ(第2回) ～公園づくり基本方針の検討～	

<2019年度の活動予定>

2019年度の活動は、公園計画案をまとめることを目指し、公園計画ワークショップを3回実施する予定です。また、公園計画以外に防災まちづくりの内容も扱う予定です。

2018年度2回目の公園計画ワークショップは、「子どもや孫の世代に『私たちが皆でつくったんだよ』と誇れるような公園づくりをしよう」という意気込みを共有して締めくくられました。

公園計画ワークショップはどなたでも参加できます。次回の日程が決まり次第ご案内しますので、ぜひご参加ください。



【荒川二・四・七丁目地区に関するお問い合わせ先】

荒川区 防災都市づくり部 防災街づくり推進課 防災街づくり係 杉山・太田
電話: (03)3802-3111 (内線 2834) / FAX: (03)3802-4104

第2回協議会

1. 防災まちづくりと公園（説明）

荒川区から、荒川二・四・七丁目地区の災害時の避難に関する基本的な考え方について説明がありました。

また、近隣の公園の使い方に関し、事例も交えた具体的な説明がありました。

2. 旧荒川図書館跡 公園ワークショップ（第1回）

2班に分かれて、「公園の写真や模型を見て気づいたこと」「公園のイメージ」「公園のキャッチフレーズ」の3点について、自由に意見交換をしました。



第1回公園ワークショップで出された主な意見

公園の写真・模型を見て気づいたこと

- 通り抜け化が必要
 - ・行き止まり路が多いので、公園の敷地を使って通り抜け可能に
 - ・緊急自動車の進入
- 公園周辺の道路を拡げたい ⇔ 拡げすぎると車が多くなる
- 災害時役立つ公園にしたい
- 防犯上安全な公園にしたい
 - ・警察に巡回して欲しい。 ・夜間は鍵を閉めず、明るくする。
 - ・塀の形状は工夫が必要（低くするか、高くするか）
- 管理、安全安心を！
 - ・常にきれいにしてもらいたい。
 - ・外国の方にも注意事項を伝える工夫が必要

公園のイメージ、使い方

- お年寄りが憩える公園
- 子どもが遊べる公園
- 体を動かせる公園
- 町会イベントができる公園（防災訓練・子どもまつり）
- 特徴のある公園、その他
 - ・プラネタリウムがあった歴史を形として残したい
 - ・地元で公園の世話や管理ができないか
 - ・公園の名称、愛称があると良い

キャッチフレーズ

- 開放的・オープンな公園
- 子どもも年配の方も使える公園
- 使い倒せる公園

第3回協議会

1. 防災まちづくりの進捗状況（報告）

事務局から、荒川二・四・七丁目地区の防災まちづくりの進捗状況について説明がありました。

2. 公園の事例紹介と計画のヒント（講演）

中野竜氏（株式会社コトブキ）から、最近の公園づくりの潮流、旧荒川図書館跡地の公園計画の参考となる事例の紹介や、専門家としての公園づくりのヒントについてお話がありました。



↑ 講演の様子

年齢を問わず遊べる遊具があり、安全にも配慮されているパリの公園事例 →



← 様々な遊具がある世田谷区二子玉川の公園事例

3. 旧荒川図書館跡 公園ワークショップ（第2回）

3班に分かれて、「公園の基本コンセプト」や「ゾーン分け」を行い、それぞれのゾーンについて意見を出し合いました。

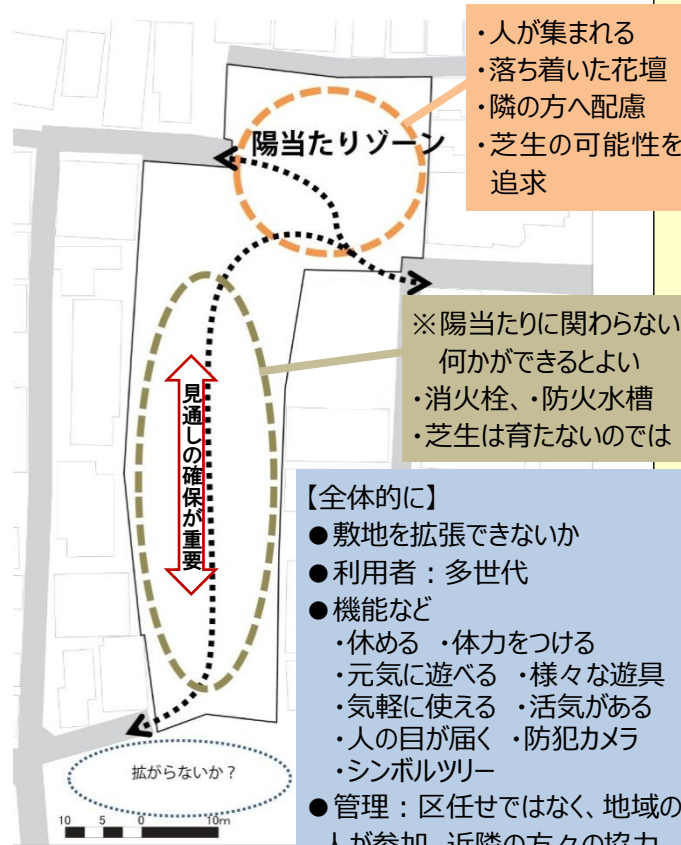
第2回公園ワークショップの各班の成果のあらまし

A班まとめ 基本コンセプト「昔ながらの公園」「はらっぱ公園」



凡例： ←.....→ 歩行者動線（園路等）

B班まとめ 基本コンセプト「(仮)世代を超えて使う、安全な公園」



C班まとめ 基本コンセプト「陽だまり公園」

